

2012年7月17日

福原愛選手、石川佳純選手、平野早矢香選手 卓球用シューズについて

第30回オリンピック競技大会（ロンドン）の卓球に出場する日本代表選手、女子3名が弊社シューズを使用します。各選手のシューズ仕様についてまとめました。

※ミズノはJOCオフィシャルスポーツ用品パートナーです。

【福原 愛 選手】

スエード素材で柔らかく足を包み、ソールは床にしっかりとグリップ

福原選手が最もこだわっているのはソールのグリップ性。摩擦係数の高いラバーを使用し、靴底ラバー部分を細かい四角を並べたデザインにすることで床へのグリップ力を高めています。

アッパー前足部には柔らかく足馴染みのよいスエード素材、後足部はしっかりと踵（かかと）を支えるスムーズ人工皮革を採用しています。

福原選手のラッキーカラーのピンクをベースにし、自らデザインしたハートマークをモチーフにしています。



卓球シューズ：福原愛選手モデル

【石川 佳純 選手】

アッパーを柔らかいスエード素材に変更し、快適性向上

2012年世界卓球選手権(ドイツ・ドルトムント)以降、アッパー材を長年愛用していた比較的しっかり感のあるスムーズ人工皮革から、足馴染みの良い柔らかいスエード素材に変更。今回のオリンピックでもそのスエード素材で戦います。

体全体のパワーが増し、ステップカにも力強さが増した石川選手のプレイスタイルにあわせ、やや厚めのミッドソールを採用。また、ミズノ独自の波形プレート『ミズノウエーブ』※をジグザグ型に変形させた『ジグザグウエーブ』を採用し、クッション性と横ズレへの剛性を高めています。

かかと部分に石川選手の年齢にちなんだ「19」の刺繍を施しています。

※『ミズノウエーブ』は、クッション性と安定性を両立させ、さらに横ずれ抵抗性を高めるため、あらゆる種目のシューズに搭載しているソールに挿入する波形プレートです。



卓球シューズ：石川佳純選手モデル

【平野 早矢香 選手】

靴底を薄く軽量化、スピード感のあるプレイに対応

靴底を極限まで薄く、材料の重なりをほぼ無くし1枚革成型したアッパーで軽量化を図りながら、ストレス無く、足を包み込むような高いフィット性と、素足に近い感覚を追求しています。

かかとの中心部や小指付近の外側側面は（写真：ソールの赤い部分）、あえて他の部分より滑りを抑制しない素材を使用し、車のドリフトのように床との抵抗力を上手く分散し、足への負担を軽減する設計を施しています。

また平野選手の足に合わせ、シューズ内部でのズレやムダを無くす細めの木型（ラスト）を採用しました。

金メダルへの思いを込めたゴールドと、日本の国旗のレッドを配色しています。



卓球シューズ：平野早矢香選手モデル

（マスコミのお問合せ先）

東京広報課 澤井・木水 TEL: 03-3233-7037

大阪広報課 高橋・成清・植田 TEL: 06-6614-8373

（ユーザーのお問合せ先）

ミズノお客様相談センター ☎ 0120-320-799

ミズノ・卓球情報は—<http://www.mizuno.jp/tabletennis/>